



伊丹特別支援学校進路担当

12月17日(火)に本校で開催しました『福祉合同説明会』についての報告をします。この説明会については、伊丹市の福祉サービスや障がい者雇用等の現状を知ってもらい、将来の進路について考える機会を提供することを目的とし、市内の小・中学校の肢体不自由学級の保護者や担任の先生方にも案内をしました。当日は本校や他校の保護者、先生方を合わせて28名の方が参加されました。伊丹市内から9つの事業所や能力開発校、尼崎市から5つの事業所、宝塚市から3つの事業所の方々をお招きし、全体説明と個別相談をしていただきました。また、行政から伊丹市障害福祉課、こども福祉課、こども発達支援センターの職員の方、子どもたちがお世話になっている相談支援事業所の相談支援専門員の方にも来ていただきました。会終了後には、本校の保護者から「すごくよかった。来年も続けてほしい。」「いい話が聞けた。もっとたくさんの保護者に参加してほしい。」といった感想が聞かれました。

この『福祉合同説明会』は今年度初めての取り組みでした。至らぬ点が多々あったことは反省し、来年度には更に良い会になるよう進めていきたいと考えています。また、この会を通じて、事業所の見学希望のある方など、何かありましたら遠慮なく進路担当まで申し出てください。

最後に、事後アンケートの一部を紹介します。

【保護者アンケート】より

- 具体的な生活やお仕事内容が知れてよかった。
- 生活介護のことが聞けてよかった。
- 学校から移行していく準備と、スムーズに移行するにはどうすべきかを聞くことができた。
- 高校卒業後のことを聞いて参考になった。
- 時間が短く、少しだけしか話ができなかった。



「興味を持った事業所はありましたか?」という問いには、アンケート提出者15名のうち、14名が「あった」との答えでした。

【事業所アンケート】より

- 全体会の事業所説明の時間配分をきちんとしてほしい。 ※同様の意見多数
- 事業所説明が長く、ブースで話す時間が少ない。
- 全体会と個別説明を同時にしてほしい。もっと効率よく回転できるシステムが必要。
- このような会を続けていただき、学校やご家族様と情報交換ができれば幸いです。
- いろいろな事業所さんのことが知れて、相談員や先生とも会えて勉強になりました。ガイドブックがさらにいいものになるといいですね。
- ご家族の話をもっと聞きたい。

以上のように、多くの方から運営についての意見をいただきました。校内の反省点も踏まえて来年度以降に改善していきたいと思っております。ご参加いただいた保護者の皆様、事業所の皆様、関係機関の皆様、ありがとうございました。